

# 令和5年度 第1回 岐阜県地方独立行政法人評価委員会（看護大学関係）

## —— 議 事 要 旨 ——

- 1 日 時 令和5年7月25日（火） 13:00 ～ 14:00
- 2 場 所 Web会議（事務局：議会棟第2会議室②）
- 3 出席者  
[委 員] 山口委員長、地守委員、松波委員  
[専門委員] 青木専門委員、山岡専門委員  
[法 人]（公立大学法人岐阜県立看護大学）北山理事長、土井事務局長  
[設立団体]（岐阜県）丹藤健康福祉部長、山田医療福祉連携推進課長、  
加藤看護対策監、河合看護係長
- 4 議 事 等  
[議 題 1] 令和4年度業務実績に関する評価について  
[報 告] 令和5年度年度計画について
- 5 配布資料 次第、名簿、資料1-1～1-3、報告、説明
- 6 議事要旨

## 議事概要 看護大学関係

[審議事項：議題1]

令和4年度業務実績に関する評価について

### 第1ブロック 法人から実績を説明

※教育に関する目標を達成するための措置について、資料1-1をもとに説明

### 第1ブロック 質疑応答

【松波委員】

県内就職率が57.1%であることは分かったが、81.2%とは何のことか。

【看護大学 北山理事長】

県内出身者の県内就職率である。

【山岡専門委員】

通し番号03にて、卒業後10年以上となる者に対し調査をしたとあるが、何名ほど調査をしたのか。

【看護大学 北山理事長】

卒業者と上司を同時に面接するということもあるが、今回協力を得られたのは、看護師2名、保健師1名、助産師1名の計4名である。

【山口委員長】

通し番号19で、卒業生・修了生・在学生との交流会を開催したとあり、素晴らしい取り組みであると思う。交流会を開催するのは平日か休日か、どのように実施されているか。

【看護大学 北山理事長】

平日に実施している。

事前に卒業生に連絡をして内諾を得たうえで、就業施設の管理者に依頼状を送付している。これに了解を得られた卒業生を招聘している。

【山口委員長】

時間は午後など、遅くない時間に実施されているのか。

【看護大学 北山理事長】

そのとおり。

授業の一環として位置付けて実施しており、午後の2コマ程度を使っている。

### 【松波委員】

専門学校でも大学と同じ「看護師」の資格を取得できるにもかかわらず、大学では1年多く時間をかけて看護師を育成している。大学卒の看護師たる所以とは、教育方針等によって変わってくるかと思うが、大学として4年間の教育をし、どんな看護師を育成したいと考えているか。

### 【看護大学 北山理事長】

大学の場合は卒業すると学士を取得することになるため、看護学の専門の基礎を教授することは勿論かと思う。

また、社会に出てから様々な方とコミュニケーションをとり、信頼関係を築いてケアをしていくことが大事である。その基盤となる人間性・倫理観を備え、幅広い教養・視野を持った人づくりをするのも重要であると考えます。

もう1点、大学卒業後に看護をする際は、様々な壁にぶつかることがある。その課題を自分なりに解決できるよう取り組むことでそれぞれの看護の道を開いていける力、問題に対して創造的に解決策を作っていくための基礎力、また、専門職としての能力を、卒業後も自分なりに発展させていくための生涯学習の基礎的な力を培うことが大事かと思う。

## 第2ブロック 法人から実績を説明

※研究に関する目標を達成するための措置等について、資料1-1をもとに説明

## 第2ブロック 質疑応答

### 【松波委員】

26ページにて、県健康福祉部長の講義を実施したとあり、非常に良いと思う。

一般的に就職先は、医者も看護師も病院か医院もしくは医系技官となるかと思うが、看護師としての医系技官の数は少ないと思う。医系技官は非常に魅力的な仕事であるし、重要な役割を果たしているのが良いと思うが、多数派は病院か医院であるので、病院協会や医師会の方々から病院における看護の実際の話等をお話しいただく機会もあって良いかと思うが如何か。

### 【看護大学 北山理事長】

このテーマは毎年変えており、昨年度はこのようなテーマで実施したところである。

以前にも様々な方に依頼しており、数年前には岐阜大学医学部附属病院の院長にお越しいただき、救急のことについてお話しいただいたこともあったかと思う。

### 【松波委員】

数年前に救急の講義を実施したということは、次の年の学生は当該講義が無いということである。よって、学生へ様々なオプションを提示するのが大事かと思う。

病院協会や医師会としても、県内に就業していただきたいということが切実な願いで

あり、様々な場所や魅力を知ってほしいという意味では、数年前だけでなく毎年のように病院等の情報を提示できる機会を作っていただけると、より県内に定着していただけるのではと思う。

【看護大学 北山理事長】

承知した。検討させていただく。

【青木専門委員】

卒業者の県内就職率が、令和4年度は57.1%とあるが、これは卒業時の県内就業ということか。

【看護大学 北山理事長】

そのとおり。

【青木専門委員】

就業後の定着状況を調査することはあるか。

【看護大学 北山理事長】

卒業後、10年以上経った卒業者を対象とした質問紙調査を3年に1度実施しており、その時点でどこに就業しているのかという数は把握している。

ただし、回収率が5割程度のため、確実な数とは言えない。

【青木専門委員】

働き続けている人は、相当数いるか。

【看護大学 北山理事長】

働き続けている卒業者は多く、県内に半数は就業している。

【山岡専門委員】

通し番号43のファカルティ・ディベロップメント活動について、欠席者が非常に多いかと思う。欠席者のその後のフォローはされているか。

【看護大学 北山理事長】

資料を見ていただくことはしているが、これまでの参加率が90%以上と非常に高かったため、それ以外のフォローの準備が昨年ではできていなかったと思う。

### **第3ブロック 法人から実績を説明**

※業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置について、資料1-1をもとに説明

### **第3ブロック 質疑応答**

#### **【山口委員】**

通し番号 60 にて、旅費の支払い事務を簡素化したとあるが、具体的にどのような事務が簡素化されたのか。

#### **【看護大学 土井事務局長】**

特に旅費が発生するのは、学生の実習先との調整である。教員は、大学や自宅から、県内各市町村に出張する。

以前は高速道路代金等について、それぞれの事例ごとに、距離または時間短縮効果等を判断し、支給の有無及び金額を判断していた。

ところが、事例が多くその都度時間がかかっていたため、令和4年度から支給対象の市町村を一覧にし、教員と共有することにより支給の有無及び金額を簡単に確認できるようにした。

### **第4ブロック 法人から実績を説明**

※財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置等について、資料1-1をもとに説明

### **第4ブロック 質疑応答**

#### **【松波委員】**

令和4年度は、約3千万円の黒字であり、前年度比較で約8百万円の利益増とのことだが、何故3千万円も黒字だったのか。

#### **【看護大学 土井事務局長】**

3千万円の黒字は大体予想どおりであった。

大学では中期財政見通し計画を立てており、令和4年度については黒字であると予想していた。

この要素は、燃料費の高騰について県から特別運営費交付金として約1千万円の措置がなされたこと等であり、今年度以降は改めて県との協議となるため、どうなるか分からないところである。

また、令和5年度以降は情報システムの更新が行われるため、メンテナンス費用等が1千万円以上高くなることが予想されている。

よって、令和5年度以降の中期計画期間である5年間は、かなり経営状況が厳しくなるであろうが、令和4年度は更新前の契約として費用が安くなっているため黒字が見込まれると予想した。

#### **【松波委員】**

インカムの大半は、県からの交付金ということか。

【看護大学 土井事務局長】

そのとおり。7割5分が県からの交付金である。

【松波委員】

あとは授業料収入であり、主なインカムはその2つか。

【看護大学 土井事務局長】

そのとおり。

【松波委員】

それに対し、アウトプットが3千万円少なかったということか。

【看護大学 土井事務局長】

そのとおり。

ただし、中期計画期間全体としてみると、第2期中期計画期間において剰余金が1億円以上出ているが、これは第1期と比較して少ない金額であった。第3期については、令和4年度は黒字であったが、令和5年度以降は経営が厳しくなるということで、第2期のような1億円以上の剰余金は厳しくなるのではと予想している。

これについては、8月の財務諸表に関する議題の際に、改めてお話しする。

#### 今後の流れについて

※事務局より、提出資料について、資料1-2及び1-3をもとに説明

#### 今後の流れについて 質疑応答

【山岡専門委員】

資料1-2について、自己評価区分の欄にⅢが2つ記載されているが、「年度計画を上回っている」の欄はⅣの誤りではないか。

【事務局】

そのとおり。

[報告事項]

令和5年度年度計画について

#### 質疑応答

特になし

以上（終了時刻 14:00）